

麻生区町連だより

2012 (平成24) 年 2 月 1 日 発行



発行所 麻生区町会連合会
 発行人 会長 飯塚 馨
 事務局 川崎市麻生区役所
 地域振興課地域活動支援係
 電話 965-5113
 印刷 ㈱メヂスタぐらしの窓新聞社

新年のごあいさつ

麻生区町会連合会会長 飯塚 馨



新年、明けましておめでとうございます。
 新年にあたり、「ごあいさつ申し上げます。
 区民の皆様方におかれましては、平成24年の新春を健やかにお迎えのこと心からお慶び申し上げます。
 平素より、麻生区町会連合会の運営各般に対し、町会・自治会の方々の一方ならぬご支援、ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。
 さて、昨年は3月11日に東北地方を襲った東日本大震災や原発事故、大型台風上陸による集中豪雨の被害など、私たちがこれまでに経験したことのない規模の災害が続発し、多くの方々が生命、財産を失う被害を受けられました。特に3月の大震災は、多くの人の人生観にも影響を及ぼすほどの衝撃の大きいものでした。ただ、天災の恐ろしさをあらためて思い知る一方で、震災直後から被災地の復興支援に向けて、日本全体が気持ちを一つにして力を尽くす姿を目的の当りにし、互いに支え合うことを大切にする国民性に誇りを持ちました。

高瀬隆雄氏 (早野町内会会長) 平成23年度市自治功労者に



今年度の川崎市自治功労賞表彰者に、麻生区から高瀬隆雄氏(早野町内会会長)が選ばれました。自治功労者表彰は、町内会長などを10年以上務め、地域住民の福祉増進と住民自治の振興に貢献し、特に顕著な功績のあった方を表彰しています。各区長からの推薦に
 より、市自治功労者選考委員会にて選考されています。
 高瀬氏は、平成11年から今日まで町会長を務められているほか、麻生区町会連合会副会長などの要職を歴任し、市民生活の安全、地域住民の融和と福祉の増進に尽力されてきました。
 贈呈式は、2月14日(火)に中原区の市総合自治会館で行われます。受賞おめでとうございます。

平成24年麻生区賀詞交歓会開催



平成24年1月6日新百合トウエンティワンビルにおいて、麻生区5団体(麻生区町会連合会・麻生区社会福祉協議会・麻生区商店街連合会・麻生防犯協会・麻生防火協会)の主催による

また、川崎市全町内会連合会による東日本大震災義援金について、各町会・自治会のみならずから募金という形で多大なご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。
 麻生区町会連合会は、「人と人とのつながり」を最も大切なものと考え活動しております。大震災の経験から、家族や地域社会の絆についてあらためて関心が広がるなか、住民のみならずがごぞつて町会・自治会活動に参加し、地域の力を強化することが急務かと存じます。当会は区内最大の住民組織として、災害時に住民同士が互いに助け合える土壌作り、住民自治、住民福祉の発展のために最大限寄与していかねばなりません。
 今年度は、小田急多摩線の西部に位置する片平地区の視察を行いました。南北4キロメートルにも渡る片平地区は、半日の行程では足りないほど見所が豊富なところです。古くは農業が生活の中心であった土地柄で、今日は土地画整理事業などを経て住宅地として成熟した趣を見せています。丘陵の豊かな自然も残されているほか、史跡や寺社もあり、魅力に富んでいます。
 議員、国会議員、各行政機関、各種団体、歴代区長の方々が紹介されました。その後、佐藤署長、瀧峠区長、飯塚会長、岡本同一麻生区社会福祉協議会会長、野村衛麻生区商店街連合会会長、笠原勝利麻生防犯協会会長、横山副会長によって、「ヨイシヨ」の掛け声とともに鏡開きが行われました。
 磯野前区長の発声により、禅寺丸柿ワインでの乾杯、野村会長による祝電披露と続き、舞台上では、恒

麻生区町会連合会「勉強会」開催



昨年11月29日、「地域を知る」をテーマに、町会長・自治会長を対象とした勉強会を開催しました。
 この勉強会は今回で5回目となりますが、同じ麻生区内であっても、地域が異なる全く違う風景や風土が発見されることに驚かされます。また片平会館での講義後にも質問が次々と出され、皆様の関心の高さが伺えました。参加した町会長・自治会長同士の情報交換の機会にもなり、盛況のまま勉強会を終えることができました。
 例となりました麻生区文化協会のご協力による「あさおまつり唄」の踊りが披露され、会を華やかに盛り上げました。
 久保倉良三麻生防犯協会副会長の万歳三唱のあと、笠原会長の閉会のことはで幕を閉じました。
 年頭にあたり、参会された方々は終始なごやかな雰囲気でご挨拶されています。
 「ご参会の皆様ありがとうございました。」

